

白梅学園大学 子ども学部 子ども学会 第11回 卒業研究発表

2月26日（火）口頭発表：51件

- I-13 9:30～10:00 小児病棟における保育職の専門性について
10:00～10:30 保幼小連携の現状と課題 ～幼児教育・保育現場の視点からの考察～
10:30～11:00 言語発達遅滞（3歳男児）の発達と成長に関する考察
～ワークショップで担当したKちゃんの発表場面の变化における考察～
11:00～11:30 幼児教育とICT ～ニュージーランドの改革に学ぶ～
11:30～12:00 外国籍の子どもの保育 ～多様性についての考察～
13:00～13:30 家族写真とアルバムに関する考察 ～学生・保護者等のアンケート調査から～
13:30～14:00 家庭支援専門相談員の本来の機能と業務実施への考察
～児童養護施設へのインタビュー調査から～
14:00～14:30 外国籍の子の保育 ～保護者への対応を中心に～
- I-23 9:30～10:00 BGMによる購買行動への影響について
10:00～10:30 これからの時代の保育における地域・社会との関わりの検討
～2園（都会・郊外）の事例をもとに～
10:30～11:00 ふたごの子育て支援について
11:00～11:30 ヴェリズモ・オペラの流行と衰退に関する多角的視点からの考察
11:30～12:00 子ども食堂の現状と課題
13:00～13:30 LGBTの歴史と現状
13:30～14:00 地域の子育て支援サービスについて
14:00～14:30 ○すぎない社会 ～LGBTとノーマライゼーション～
14:30～15:00 日米ディズニープリンセスの取り上げ方の違いについて
～日本の社会意識とプリンセスへのイメージ～
- I-24 9:30～10:00 食物アレルギー児とその家族が安心して外食ができる食事環境についての考察
10:00～10:30 セクシャルマイノリティとカミングアウト ～成功と失敗の判断～
10:30～11:00 様々な家庭環境が子どもに与える影響とその対応
11:00～11:30 幼稚園・保育園における移動動物園の効果について ～インタビュー調査を通じて～
11:30～12:00 園と保護者の協働の取り組みに関する一考察 ～園庭整備の活動を通して～
13:00～13:30 男性保育者の役割意識モデルと家庭支援について ～父親支援に焦点を当てて～
13:30～14:00 幼児教育における鍵盤楽器導入に関する研究 ～ピアノと鍵盤ハーモニカに着目して～
14:00～14:30 環境デザインが子どもに与える影響 ～園舎デザインの重要性～
- I-25 9:30～10:00 レジリエンスの定義・要素・構成に関する研究 ～ストレスと向き合うにはどうするか～
10:00～10:30 インクルージョンの視点から見る障害者スポーツ
10:30～11:00 『3月のライオン』に見るいじめ問題と家庭問題 ～漫画から現代の社会問題を読み取る～
11:00～11:30 誰もが楽しめるテーマパーク ～夢と魔法を手に入れるために～
11:30～12:00 意思疎通困難認知症高齢者の役割発見の手がかり ～S-DCMを用いた自発的行動分析～
13:00～13:30 学生ヘルパーの持続要因に関する研究
13:30～14:00 災害時における介護福祉士の支援活動の可能性 ～災害現場で介護支援に求められること～
14:00～14:30 過換気症候群の適切な対応法 ～ペーパーバック法の危険性～
14:30～15:00 サロン活動と介護予防の関係性 ～F市のサロン活動を通して～

◎プログラム一覧表（発表会場、スケジュール、発表演題）

2月26日（火）

- J-26 9:30～10:00 幼児教育と小学校教育を繋ぐ小学校入門期の授業
～スタートカリキュラムを基にして幼保小連携を考える～
10:00～10:30 幼児期の絵画体験がその後の青年期に与える影響について
10:30～11:00 子どもの自然離れ・理科離れを防ぐ ～虫嫌いの克服が理科離れの改善に繋がる～
11:00～11:30 社会と学校の時間意識定着の歴史 ～社会と学校の関係性～
11:30～12:00 自然体験が子どもに与える影響 ～自然にふれあう遊びを中心に～
13:00～13:30 子どもとおもちゃの関係性 ～『トイ・ストーリー』シリーズを中心に～
13:30～14:00 愛着形成の重要性についての考察 ～少年非行の事例検討から～
14:00～14:30 有川浩の『明日の子供たち』における児童養護施設 ～文学作品と現実の間～
- J-27 9:30～10:00 自然と子どもに関する研究 ～児童と教員にとって効果的な集団宿泊活動について～
10:00～10:30 ファシリテーターから考える継続担当の重要性について
～造形ワークショップにおける子どもたちの参加を通じて～
10:30～11:00 「褒める」、「叱る」による子どもへの影響：
～子どものとのかかわりで大人が留意すべきこと～
11:00～11:30 きょうだい葛藤とどう向き合うか
11:30～12:00 絶対音感及び相対音感の習得過程について
13:00～13:30 子どもの主体的な学びの支援について ～ICTの効果的活用を通して～
13:30～14:00 子どもの気持ちに寄りそう保育者の言葉かけのあり方
～2歳児クラスのやりとりを中心に～
14:00～14:30 不登校の現状と原因及び社会復帰についての研究と考察
14:30～15:00 関係的貧困と居場所 ～子ども・若者たちの見えないSOSを救うために～

◎口頭発表は、各発表20分（発表15分、質問5分：13分でベル）+10分移動、合計30分で実施されます。

2月27日（水）

大体育館（ポスター発表：118件）

第1セッション 9:30～10:10 第2セッション 10:10～10:50
第3セッション 10:50～11:30 第4セッション 11:30～12:10

◎ポスター発表は、第1セッションから第4セッションまで、各40分で実施されます。

2月26日（火）27日（水）

J-14（展示発表：2件）

9:30～14:30 杉山ゼミ 「造形ワークショップと演劇ワークショップの実践」
林ゼミ 「林ゼミナールクッキング活動展示」